



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 澤井 幹生 TEL 078-304-2516
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	46,144	24.3	4,376	230.2	4,847	237.3	5,077	258.8	3,798	269.3	4,016	114.6
2021年3月期第2四半期	37,116	△19.7	1,325	△54.9	1,436	△48.1	1,415	△45.5	1,028	△50.2	1,871	134.9

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	83.76	—
2021年3月期第2四半期	22.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	116,458	73,412	73,139	62.8
2021年3月期	116,282	70,763	70,491	60.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	20.00	26.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	24.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	10.6	6,000	21.5	6,500	20.9	4,500	14.1	98.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	47,213,536株	2021年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,161,068株	2021年3月期	1,644,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	45,353,721株	2021年3月期2Q	45,539,638株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2021年11月10日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年11月24日（水）に機関投資家およびアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
3. 補足情報	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	37,116	46,144	9,027	24.3
自動車部品事業	14,484	19,793	5,309	36.7
産業資材事業	15,203	17,163	1,960	12.9
高機能エラストマー製品事業	5,485	7,042	1,556	28.4
その他	2,481	2,581	99	4.0
調整額	△538	△436	102	—
コア営業利益 (セグメント利益) (△は損失)	1,325	4,376	3,051	230.2
自動車部品事業	198	1,667	1,469	740.0
産業資材事業	1,081	1,954	873	80.7
高機能エラストマー製品事業	△359	413	773	—
その他	143	147	4	3.2
調整額	261	192	△69	△26.5
営業利益	1,436	4,847	3,410	237.3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,028	3,798	2,770	269.3

(注) コア営業利益 (△は損失) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残るなか、中国では、感染封じ込めに向けた活動制限の強化や政府の投資抑制策もあり、米国においても、変異株による感染拡大が個人消費や雇用回復の重石となったことから、景気の回復ペースが足元では鈍化いたしました。また、日本でも、自動車の減産に伴う輸出や国内販売の低迷が景気を下押ししたことで、景気持ち直しの動きに足踏み感が見られました。さらに、アジア地域においては、ワクチンの接種率が伸び悩んでいることを背景に経済活動規制が強化されたことを受けて、景気が大きく低迷いたしました。一方、欧州では、個人消費が堅調に推移し、景気回復が一段と進展いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、中国では、半導体不足の影響が継続し、自動車生産台数が前年度を下回る状況で推移いたしました。しかし、その他の国々では、前年度に大きく落ち込んだ反動から、自動車生産台数が総じて前年度を上回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future” (未来への躍進) の第2ステージの4年目として、「新事業の創出」、「コア事業の拡大」、「ものづくりの深化と進化」、「個人と組織の働き方改革」の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動してまいりました。歯付ベルト「Ceptor®」シリーズの新たなラインアップとして、従来の「Ceptor®-X」よりも、さらに長寿命化と高伝動化・コンパクト化を実現した新たな高負荷対応歯付ベルト「Ceptor®-X Plus (セプターテン プラス)」の販売を開始したほか、精密搬送用歯付ベルトの新たなラインアップとして、脂油に対する耐油性を向上させた「紙幣/カード搬送用歯付ベルト UVH仕様」の販売を開始しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間は、前年同期の新型コロナウイルス感染症の影響からの景気持ち直しの動きもあり売上収益は46,144百万円 (前年同期比24.3%増)、コア営業利益は4,376百万円 (前年同期比230.2%増)、営業利益は4,847百万円 (前年同期比237.3%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,798百万円 (前年同期比269.3%増) となりました。

事業（セグメント）別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、積極的な営業活動により補修市場向け品揃えの拡大や多用途四輪車用変速ベルトの販売が増加したことに加え、自動車生産台数の回復により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）および補機駆動用伝動システム製品（オートテンショナなど）の販売が増加いたしました。

海外においては、中国において主要顧客の生産台数の増加や補修市場への拡販により補機駆動用伝動ベルトなどの販売が伸びました。また、米国、欧州およびアジア地域においても販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は19,793百万円（前年同期比36.7%増）、セグメント利益は1,667百万円（前年同期比740.0%増）となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、民間設備投資が増加したことにより、産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。海外においては、中国、アジア地域において農業機械用および産業機械用伝動ベルトの販売が増加し、米国および欧州地域において産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は17,163百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は1,954百万円（前年同期比80.7%増）となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時停滞していた需要が回復したこともあり、建築資材用フィルムの販売が増加いたしました。また、医療用および装飾表示用フィルムなどの販売も増加いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客の生産回復により、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は7,042百万円（前年同期比28.4%増）、セグメント利益は413百万円（前年同期はセグメント損失359百万円）となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っており、売上収益は2,581百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は147百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が536百万円増加し、非流動資産が360百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し、116,458百万円となりました。

負債は、流動負債が2,075百万円減少し、非流動負債が398百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ2,473百万円減少し、43,045百万円となりました。

資本は、利益剰余金が2,900百万円増加し、自己株式が464百万円増加し、その他の資本の構成要素が193百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ2,649百万円増加し、73,412百万円となりました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の60.6%から62.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は16,999百万円（前年同期は16,293百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金収支は4,070百万円の収入超過（前年同期は3,346百万円の収入超過）となりました。これは主に、税引前四半期利益5,077百万円、減価償却費及び償却費2,902百万円、営業債権及びその他の債権の増加額1,482百万円、法人所得税の支払額1,091百万円および棚卸資産の増加額857百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金収支は1,169百万円の支出超過（前年同期は1,429百万円の支出超過）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,714百万円および資本性金融商品の売却による収入483百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金収支は4,524百万円の支出超過（前年同期は119百万円の支出超過）となりました。これは主に、借入金の減少による支出2,600百万円、親会社の所有者への配当金の支払額912百万円および自己株式の取得による支出463百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月13日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、第2四半期までの業績は当初予想を上回って推移しているものの、半導体の供給不足による主要顧客の減産や原材料価格の高騰など、依然として業績の下振れリスクが残ることに加え、当社および一部の国内子会社において当年度中に賞与制度の変更を実施することを検討しており、一時的な営業費用が発生する可能性があることから、連結業績予想を据え置いております。

また、株主還元方針の変更に伴い、当該基本方針および当社の業績等を総合的に勘案した結果、2022年3月期の期末配当予想を1株当たり8円増配し、24円に修正することにいたしました。詳細につきましては、2021年11月10日に別途公表いたしました「株主還元方針の変更および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,863	16,999
営業債権及びその他の債権	20,467	21,855
棚卸資産	13,038	13,815
未収法人所得税	31	76
その他の金融資産	435	528
その他の流動資産	823	920
流動資産合計	53,660	54,196
非流動資産		
有形固定資産	32,880	32,187
のれん	8,601	8,598
無形資産	4,413	4,155
持分法で会計処理されている投資	7,038	7,384
その他の金融資産	8,663	8,976
繰延税金資産	521	520
その他の非流動資産	502	438
非流動資産合計	62,622	62,261
資産合計	116,282	116,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	14,070	13,708
社債及び借入金	8,012	6,251
未払法人所得税	549	860
その他の金融負債	876	838
引当金	5	1
その他の流動負債	4,144	3,923
流動負債合計	27,658	25,583
非流動負債		
社債及び借入金	11,987	11,162
退職給付に係る負債	751	768
その他の金融負債	1,310	1,675
繰延税金負債	1,654	1,881
その他の非流動負債	2,157	1,974
非流動負債合計	17,860	17,462
負債合計	45,519	43,045
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,075	3,093
利益剰余金	55,857	58,757
自己株式	△1,622	△2,086
その他の資本の構成要素	2,230	2,423
親会社の所有者に帰属する持分合計	70,491	73,139
非支配持分	271	273
資本合計	70,763	73,412
負債および資本合計	116,282	116,458

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	37,116	46,144
売上原価	26,094	31,450
売上総利益	11,022	14,693
販売費及び一般管理費	9,696	10,317
その他の収益	132	248
その他の費用	125	129
持分法による投資利益(△は損失)	104	351
営業利益	1,436	4,847
金融収益	169	289
金融費用	191	59
税引前四半期利益	1,415	5,077
法人所得税費用	380	1,271
四半期利益	1,034	3,805
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,028	3,798
非支配持分	5	7
四半期利益	1,034	3,805
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	22.59	83.76

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	1,034	3,805
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	742	595
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△6	5
純損益に振り替えられることのない項目合計	736	601
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△114	△495
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	215	104
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	101	△391
その他の包括利益合計	837	210
四半期包括利益	1,871	4,016
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	1,873	4,006
非支配持分	△1	9
四半期包括利益	1,871	4,016

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2020年4月1日 残高	10,951	3,075	52,301	△1,692	△988	63,648	261	63,909
四半期利益			1,028			1,028	5	1,034
その他の包括利益					844	844	△7	837
四半期包括利益合計	—	—	1,028	—	844	1,873	△1	1,871
剰余金の配当			△729			△729	△9	△738
自己株式の取得				△0		△0		△0
自己株式の処分		△27		72		44		44
株式に基づく報酬取引						—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			286		△286	—		—
所有者との取引額等合計	—	△27	△442	71	△286	△685	△9	△695
2020年9月30日 残高	10,951	3,047	52,887	△1,620	△429	64,836	249	65,086

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年4月1日 残高	10,951	3,075	55,857	△1,622	2,230	70,491	271	70,763
四半期利益			3,798			3,798	7	3,805
その他の包括利益					207	207	2	210
四半期包括利益合計	—	—	3,798	—	207	4,006	9	4,016
剰余金の配当			△912			△912	△7	△920
自己株式の取得				△464		△464		△464
自己株式の処分						—		—
株式に基づく報酬取引		18				18		18
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			14		△14	—		—
所有者との取引額等合計	—	18	△898	△464	△14	△1,359	△7	△1,366
2021年9月30日 残高	10,951	3,093	58,757	△2,086	2,423	73,139	273	73,412

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,415	5,077
減価償却費及び償却費	2,968	2,902
受取利息及び受取配当金	△167	△154
支払利息	74	53
持分法による投資損益 (△は益)	△104	△351
固定資産除売却損益 (△は益)	78	△6
棚卸資産の増減額 (△は増加)	872	△857
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	1,287	△1,482
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,191	100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	35
引当金の増減額 (△は減少)	△18	△4
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	△200	△168
その他	△71	△211
小計	3,960	4,930
利息及び配当金の受取額	228	276
利息の支払額	△68	△53
法人所得税の支払額	△779	△1,091
法人所得税の還付額	4	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,346	4,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△316	△431
定期預金の払戻による収入	594	339
有形固定資産の取得による支出	△1,725	△1,714
有形固定資産の売却による収入	12	83
無形資産の取得による支出	△184	△55
資本性金融商品の取得による支出	△11	△7
資本性金融商品の売却による収入	236	483
その他	△35	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,429	△1,169

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金（3ヶ月以内）の純増減額（△は減少）	△1,899	△1,800
短期借入れ（3ヶ月超）による収入	2,000	—
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△935	△800
リース負債の返済による支出	△589	△540
自己株式の取得による支出	△0	△463
自己株式の売却による収入	44	—
親会社の所有者への配当金の支払額	△729	△912
非支配持分への配当金の支払額	△9	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119	△4,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△239
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,800	△1,863
現金及び現金同等物の期首残高	14,493	18,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,293	16,999

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	14,484	15,157	5,479	35,120	1,995	—	37,116
セグメント間の売上収益 または振替高	0	45	6	52	486	△538	—
計	14,484	15,203	5,485	35,173	2,481	△538	37,116
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	198	1,081	△359	920	143	261	1,325
その他の収益	—	—	—	—	—	—	132
その他の費用	—	—	—	—	—	—	125
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	104
営業利益	—	—	—	—	—	—	1,436
金融収益	—	—	—	—	—	—	169
金融費用	—	—	—	—	—	—	191
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	1,415

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額261百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、全社費用272百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	19,793	17,143	7,015	43,952	2,191	—	46,144
セグメント間の売上収益 または振替高	0	20	26	47	389	△436	—
計	19,793	17,163	7,042	43,999	2,581	△436	46,144
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	1,667	1,954	413	4,036	147	192	4,376
その他の収益	—	—	—	—	—	—	248
その他の費用	—	—	—	—	—	—	129
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	351
営業利益	—	—	—	—	—	—	4,847
金融収益	—	—	—	—	—	—	289
金融費用	—	—	—	—	—	—	59
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	5,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額192百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、全社費用196百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益 (△は損失) はコア営業利益で表示しております。

3. 補足情報

[海外売上収益]

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上収益(百万円)	12,867	5,165	5,484	23,516
II 連結売上収益(百万円)				46,144
III 連結売上収益に占める海外売上収益の割合(%)	27.9	11.2	11.9	51.0

(注) 1. 海外売上収益は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上収益であります。

2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ、韓国、インド、ベトナム、インドネシアほか

中国……………中国、香港

欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか